


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I, V 】
2 実施対象者	小美玉市立玉里中学校 全生徒（227名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（ 保健体育の授業実践 ） ② 行事名（ 「先輩ようこそ！」講演会 ） ③ その他（ スポーツ集会 ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 イベント名（ ） 2 その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ① オリンピックとパラリンピックの理解 ② スポーツに打ち込む態度やスポーツを楽しむ心の育成 ③ スポーツの楽しさや心地よさを体験
5 取組内容	<p>① 保健体育の授業</p> <p>中学3年生の保健体育科の授業において、オリンピック・パラリンピックの歴史や概念について学習した。特に、東京でオリンピックを開催するに当たり、その意義や影響について話し合うことで、共通理解とともにオリンピック・パラリンピックへの意識を高めた。</p> <p>② 「先輩ようこそ！」講演会</p> <p>推進校（玉里中）出身で、石岡第一高等学校3年山口千尋さん（重量挙げ全国高校女子選手権大会53kg級優勝）を講師に講演会を開いた。テーマは、「夢を現実（かたち）に！」でウェイトリフティング全国優勝するまでについて、インタビュー形式で行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>その後、実技披露をもらった。</p>

茨城新聞にも取り上げられた。(H29. 12. 31)

小美玉・玉里中

オリンピック・パラリンピック教育推進校の小美玉市立玉里中(同市上玉里、羽鳥文雄校長)で、講演会「先輩ようこそ!」夢を現実(かたち)に」が開かれた。

オリンピック出場などの夢に向かい努力する先輩を迎え、生徒たちの同東京大会への関心を高めるのが狙い。同中卒業生で県立石岡一高ウエイトリフティング部で活躍する山口千尋さん(3年)と、

勇気と努力、伝える
石岡一高 母校で講演
重量挙げ2選手

柴野大樹さん(2年)が講師を務めた。山口さんは、重量挙げの全国高校女子選手権で初優勝。柴野さんは関東大会出場に向けて猛練習中という。講演はインタビュー形式で行われた。東京オリンピックを目指す山口さんは、中学時代はテニス部に所属していたことや、進路に関する悩み、高校入学後に顧問に誘われて重量挙げを始めた経緯などについて応答。重量挙げと出合っただけで、「トレーニングは大変だが、結果が出た時の喜びは最高」と話した。

講演後、山口さんは柴野さんと共に重量挙げを実演し、競技の魅力を伝えた。

全校生徒227人が耳を傾け、後輩たちは「挑戦する勇気の大切さが分かった」「目標に近づくと努力する姿が輝いていた。自分も頑張りたい」などと感想を述べていた。

(高島和弘)

後輩たちへメッセージを贈る山口千尋さん(左)と柴野大樹さん。小美玉市上玉里の市立玉里中

③ スポーツ集会の開催

各学年でスポーツ集会を開いた。サッカー、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、ソフトテニス、卓球など多彩なスポーツを体験する機会となった。



6 主な成果

- ① 保健体育の授業で、話し合い活動を意図的に位置づけたことで、生徒の素直な意見が出され、2020年の東京オリンピック開催の意義や影響について共通理解ができた。また、開催を楽しみにしている生徒の感想が発表され、意識の向上が図られた。
- ② 講演会での成果
身近な卒業生の講演とあって、生徒の反応は非常によかった。「自分たちにも何かできるのではないか。」そんな気持ちにさせる講演であった。生徒の意識が変化した時でもあった。

	<p>生徒の感想では、以下のようなものがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夢を持つことの大切さ、日常生活をおろそかにしない姿勢、夢を実現するための努力などを学ぶことができた。これからの生活の中で、夢に向かって一生懸命歩いていける人になりたいと思った。 ○ 夢をあきらめない大切さ、何にでもチャレンジするチャレンジ精神の大切さが分かった。私は今、行きたい高校やなりたい職業がどちらも難しくてあきらめかけていました。でも、その夢が叶うように努力していきたいと思いました。 ○ 先輩みたいに夢を胸に抱いて目標をつくり、頑張っていきたいと思った。努力は必ず報われる！努力は必ず実を結ぶ！ <p>③ スポーツ集会の成果</p> <p>スポーツ集会の開催では、他種目の競技に参加することで、スポーツのもつ楽しさや爽快感を感じることができた。また、企画運営は生徒が行い、生徒がイベントを運営する企画力等も向上した。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>講演会開催に当たって、講師を本校卒業生に依頼したこと。身近な存在である卒業生が全国優勝したことやオリンピックを目指していることなどを知り、生徒の意識変革ができた。</p> <p>また、講演前に保健体育の授業においてオリンピックの意義などについて学習したことも講演の成功につながった。</p> <p>最後に、スポーツ集会を生徒企画で実施したことで、生徒の企画力やスポーツのもつ素晴らしさを体感することができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>講師の選定には苦勞をした。今回は卒業生がたまたま全国優勝をした年であったことが幸いしたが、オリンピックやパラリンピック参加者などを講師として選定するには、学校だけではかなり苦しいと感じた。</p> <p>また、予算的に使用制限があるため、自由な予算執行が難しいと感じる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>次年度以降は、保健体育の授業実践及び生徒企画のスポーツ集会を継続していきたい。</p> <p>講演会については、適切な講師が見つければ継続したい。</p>